

自転車シミュレータを兵庫県交通安全協会に寄贈 ～川西市で寄贈式を開催、地域の自転車事故防止啓発の一助に～

日本損害保険協会近畿支部(委員長:山口 和寿・損害保険ジャパン株式会社常務執行役員)では、12月22日(木)に兵庫県川西市のアステ市民プラザで開催された寄贈式に兵庫損保会の水越 真一郎 会長(損害保険ジャパン株式会社執行役員神戸支店長)が出席し、兵庫県交通安全協会に自転車シミュレータを寄贈しました。兵庫県交通安全協会への寄贈は昨年度に続き4年連続の6台目となります。

当日は、兵庫県交通安全協会の黒河内 豊 専務理事、川西交通安全協会の住野 敦浩 会長、川西市の五島 孝裕 土木部長、川辺郡猪名川町の岡本 信司 町長、兵庫県川西警察署の足立 雅樹 署長のほか、多数の関係者・ご来賓が参列される中、寄贈式が開催されました。

来賓を含めた出席者の紹介に続いて、挨拶に立った兵庫損保会の水越 会長からは、兵庫県交通安全協会および川西交通安全協会が交通事故防止に向けて献身的なご努力を続けられていることへの敬意の表明と寄贈機材を活用した自転車事故防止啓発活動の実施のお願いの言葉を添えて目録を贈呈しました。続いて、兵庫県交通安全協会の黒河内 専務理事 から感謝状の贈呈と合わせて謝辞のご挨拶をいただきました。また、川西交通安全協会の住野 会長からも、自転車シミュレータを常駐配備して交通事故防止啓発に役立てたいとの謝辞のご挨拶をいただきました。

当協会では、自動車事故の被害者保護や自動車事故の防止を支援するために、自動車損害保険賠償責任保険(自賠責保険)の運用益を活用した拠出事業を行っています。2022年度は上記事業の一環として、全日本交通安全協会を通じて、10府県の交通安全協会に対して自転車シミュレータを寄贈しております。



挨拶を行う水越会長



黒河内専務理事から水越会長へ感謝状贈呈



謝辞を述べる黒河内専務理事



謝辞を述べる住野会長



寄贈機材



シミュレータ体験